

教科名	科目名	履修学年	履修区分	単位数
理科	物理基礎	2年 公務員コース	必修	2

目 標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
教科書	新編 物理基礎 (数研出版)
副教材	地方初級・国家一般職(高卒者)テキスト 自然科学 第3版 (TAC 出版)
授業形態	講義形式で行う。
評価規準	<p><知識及び技能> 物体の運動と様々なエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 物体の運動と様々なエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物、現象を科学的に探究する技能を身に付けている。</p> <p><思考力・判断力・表現力> 物体の運動と様々なエネルギーに関する事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p> <p><主体的に取り組む態度> 日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。</p>
評価方法	小テスト、単元テスト、授業への取り組み状況等を考慮し、総合的に判断して評価する。
学習上の留意点	物理基礎は、日常生活や社会との関連を図りながら物理学が科学技術に果たす役割などについての認識を深め、物体の運動など身近な物理現象やエネルギーに関する見方や考え方を養います。物理学特有の考え方や物理学的に探究する方法を観察や実験などを通して学び、身近に見られる物理的な事物・現象に関する基本的な概念や物理学的な探求の方法を身に付け、物理学と日常生活や社会との関わりを考えていきましょう。

